

バレーボール競技実施要項

- 1 主 催 有明工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
- 2 大会期日 平成30年7月14日（土）・15日（日）
- 3 大会会場 山鹿市総合体育館
- 4 チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内、計17名以内とする。
- 5 競技規則 (1) 平成30年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
(2) リベロプレイヤーシステムは一般方式を採用する。
- 6 競技方法
 - (1) 出場チームを3ブロックに分け、ブロック別に予選リーグ戦を第1日目に行い、各ブロック上位2チームの計6チームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。なお、出場チーム数が8チーム以下の場合は2ブロックとし、決勝トーナメント戦は各ブロック上位2チームの計4チームで行う。ただし、予選リーグの4チームのブロック（四角形ブロック）において棄権チームがあった場合は、残り3チームによるリーグ戦に変更する。
 - (2) 予選リーグでは、前年度の優勝及び準優勝チームをシードする。なお、シードの位置は、出場チーム数により別途定める。
 - (3) 決勝トーナメントの組合せは、最初に各ブロック1位の3チームの順位を、予選成績をもとに(4)の方法で決め、1位より順に1、6、4に配置する。その後各ブロック2位のチームを、同じ予選ブロックの1位チームと反対のパートになるように配置する。なお、予選リーグが2ブロックの場合は、準決勝は1位チームと反対側ブロックの2位チームの対戦とする。
 - (4) 上位チームの選出は次の方法による。
 - ア 勝率の高い方を上位とする。
 - イ 勝率が同率の場合は、取得セット率の高い方を上位とする。
 - ウ 取得セット率が同率の場合は、得点率の高い方を上位とする。
 - エ 得点率が同率の場合は次の方法による。2チームで当事者同士の試合が行われた場合は、勝った方のチームを上位とする。その他の場合は抽選によって決定する。
 - オ 棄権チームがあつてブロックのチーム数が2チームとなった場合、予選リーグの各ブロック1位チームの順位は、勝率とセット率で決定し、得点率は考慮しない。なお、勝率・セット率ともに同率の場合は抽選で決定する。ここで、棄権チームとの対戦成績は、セットカウント2-0の勝ちとする。
 - (5) 全試合3セットマッチとする。
 - (6) 3位決定戦は行わない。ただし、男子において、久留米（全国大会開催校）が決勝に残った場合、準決勝敗者チームによる、全国大会の代表決定戦を実施する。
 - (7) 前の試合が長びき、試合開始が遅れる場合は、前の試合終了10分後にプロトコールに入る。但し、当該チームが連続試合となる場合は20分後とする。なお、決勝トーナメントは、両コート同時刻に試合を開始する。
- 7 注意事項・その他
 - (1) 使用球は、（公財）日本バレーボール協会公認カラーボールとする。
(モルテン：V5M5000)

- (2) 監督、コーチ、マネージャーは、統一された服装とし、シャツについては襟付きのものを着用すること。また、マークは各チームで用意し着用すること。
- (3) 選手は、(公財)日本バレーボール協会に登録した者とし、監督会議までにチーム加入選手一覧を提出すること。
- (4) 上記3のチーム人員の他に、4名の補助学生を線審等の審判補助員とする。
- (5) 各試合の審判補助員は、線審4名、記録1名、記録補助1名、点示2名とし、線審4名と記録1名は登録メンバー及び補助学生の中から出す。なお、男子の試合の線審は、女子の補助学生は担当できない。
- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。